

経済学演習Ⅰ

必修 2単位

1. 授業の概要(ねらい)

この演習は、「貨幣と金融」について学びます。理論、歴史、各国の制度について学びます。

2. 授業の到達目標

- (1)「貨幣と金融」について深い洞察力を修得する。
- (2)「貨幣と金融」に関する歴史の基本事項を修得する。
- (3)「貨幣と金融」の各国の制度に関する基本事項を修得する。

3. 成績評価の方法および基準

出席状況、討論への参加、レポートの作成と発表に基づいて総合的に評価します。毎回の出席は最低限の義務です。

4. 教科書・参考文献

教科書

マーチン著 『21世紀の貨幣論』 東洋経済新報社

参考文献

参考文献は進行に合わせて紹介します。

5. 準備学修の内容

各回の報告者は、テキストの内容紹介・討論の論点、課題について調べた内容の紹介・論点をプレゼンテーション出来るように準備してください。それ以外の学生は、テキストの該当箇所を読み、質問を考えておいてください。

6. その他履修上の注意事項

参加者は、しっかり準備し、出席し、積極的に発言するように心がけてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 貨幣とは何か、について学ぶ
- 【第2回】 貨幣前夜について学ぶ
- 【第3回】 エーゲ文明の発明について学ぶ
- 【第4回】 貨幣の支配者は誰か、について学ぶ
- 【第5回】 貨幣権力の誕生について学ぶ
- 【第6回】 「銀行」の発明について学ぶ
- 【第7回】 貨幣の大和解について学ぶ
- 【第8回】 ロック氏の経済的帰結—貨幣の神格化、について学ぶ
- 【第9回】 鏡の国の貨幣について学ぶ
- 【第10回】 貨幣懐疑派の戦略—スパルタ式とソビエト式、について学ぶ
- 【第11回】 貨幣を忘れた経済学について学ぶ
- 【第12回】 正統と異端の貨幣観について学ぶ
- 【第13回】 信用市場の肥大化について学ぶ
- 【第14回】 大胆な安全策について学ぶ
- 【第15回】 「貨幣と金融」に関して総括する